

屋外の火災予防について

おまつりなどの催物を行う時は、次のことに注意して下さい

- 1 **ガスこんろ等を使用する時は**、不燃性の台にのせ、周囲の燃えやすい物から**15 cm以上**（炭等の固体燃料の場合**30 cm以上**）離すか、**不燃材**（鉄板など）で囲ってください。
- 2 **火気使用中は**、絶対にその場を離れないようにしてください。
- 3 **プロパンガスボンベは**、転倒しないように**固定**してください。
- 4 **プロパンガスボンベとガス器具**を接続するゴムホースは、外れないように**固定**してください。
- 5 **火気を使用する場所には**、**消火器**を用意してください。
- 6 **発電機の燃料（ガソリン）の保管、取扱い**には十分注意をしてください。
- 7 **発電機のエンジン**を止めてから**給油**をおこなってください。
- 8 **燃料の保管は**、**専用の容器**を使用して、ふたは**確実に閉めて**ください。また、発電機の**排気口近く**には絶対に**置かない**ようにしてください。
- 9 使用済になったカセット式の**ガスボンベは**、別に保管し、各自持ち帰り、**安全な処理**をしてください。
- 10 電気設備・器具の設置、使用に際しては、**出火防止**、感電等の事故がないよう**措置**をしてください。
- 11 たばこの**吸殻の処理**を**確実に**お願いします。
- 12 その他安全面には、**十分な配慮**をお願いします。



祭事等における防火安全チェックリスト

チェック欄

- 火気使用器具の周囲に、燃えやすいものを置かない。
※ガスこんろ等を使用するときは不燃性の台にのせ、周囲の燃えやすいものから15cm以上(炭等の固体燃料の場合30cm以上)離すか、不燃材(鉄板など)で囲ってください。
- 火気の使用場所には、消火器を用意する。
- プロパンガスのボンベは、転倒しないよう固定する。
- ガスホースは、外れないようホースバンドで固定する。
- ガソリンは、金属容器に保管し、直射日光に当たらない風通しの良い床面に置く。
- ガソリンの金属容器のふたは、確実に閉める。
- ガソリンの金属容器のふたを開ける前に、圧力調整弁を開けて吹きこぼれを防止する。
- ガソリンの金属容器は稼働中の発電機の近くに置かない。
- 発電機への給油は、稼働中は行わない。
- 給油を行う際は、周囲の火気に注意する。

お問い合わせ先

相模原消防署	042-751-0119
南消防署	042-744-0119
北消防署	042-774-0119
津久井消防署	042-685-0119

出火防止に
心がけましょう！

